



南三小

教 育 目 標
よく考える子ども
心も体もたくましい子ども
仲良く助けあう子ども

7月号

町田市立南第三小学校
令和 8 年 6 月 30 日
校長 工藤 成

URL <https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310182>

南中学校区小中連携研修会から

校長 工藤 成

水泳指導が始まり、プールから子供たちの歓声が聞こえてきます。子供たちの元気な声、嬉しそうな表情、楽しそうな笑顔は何よりの宝物です。

3週間前の6月10日午後、南一小、南三小、南四小の教員が南中を訪れ、小中連携研修会を行いました。これは小中9年間を見通して教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細かな指導を行うことを目的としたものです。全学級公開の授業参観では、教室全体に漂う適度な緊張感と、教師と生徒との信頼に基づいた心地よい授業のリズムから教科担任制ならではの専門性の高い指導を拝見することができました。また Chromebook の活用が日常化しており、情報を取捨選択して自分の考えを構築する姿は、これからの時代に求められる資質・能力が着実に育っていると感じました。参観後は、各教科や特別支援教育、ICT、生活指導など、12の分科会で各校の実践や状況、課題について協議しました。学習スタンダードや基本的生活習慣の定着等々、児童・生徒の実態に基づきながら有意義な意見交換ができました。今後も中学校区を中心に各校と連携を深めながら、子供たちの学力向上、健全育成を目指していきます。来年度は本校で行う予定です。それにしても生き生きと学習に取り組む中学生の姿が印象的でした。

さて、私たちがやる気をもって生き生きと生活を送るためには、何が必要なのでしょう。心理学者の外山 美樹（とやま みき）氏は次の三つの欲求が満たされることが必要だと提唱しています。まずは「〇〇ができるようになりたい」という有能感の欲求。次に「人とのつながりを感じていたい」という関係性の欲求。続いて「自ら行動を起こしたい」という自律性の欲求です。これらの欲求は全ての人に備わっている普遍的なものです。そして、これらが満たされることで心の健康が保たれると言います。さらに、これらの欲求は「他者との相互作用の中で充足される」と強調しています。これこそが子供たちが学校という集団の中で過ごす大きな意義の一つです。

1. 挑戦と成長を実感する場【有能感の欲求】

日々の授業や行事を通して、できなかったことが「できる」ようになる喜びを、教師や友達と分かち合います。

2. 仲間との絆【関係性の欲求】

学級や学年のコミュニティの中で、誰かに認められ、必要とされているという安心感が、心の土台を作ります。

3. 自ら選んで動く経験【自律性の欲求】

学習はもちろん、係活動や委員会活動など、自分で考え、判断して行動する機会が学校にはたくさんあります。

何より大切なのは、子供の小さな変化に気付き、その自律性を支える周りの存在です。学校も、ご家庭も、子供をただ管理するのではなく、「やりたい」という気持ちを尊重し、上手に見守るサポーターでありたいと思います。一人一人の「三つの欲求」が満たされ、自分らしく輝ける南中学校区の学校づくりを家庭・地域と共に進めてまいります。

今日から学年ごとに授業参観と保護者会が始まりました。お子さんの学校での様子を間近に感じていただく大切な機会です。参観を通して、我が子の頑張りや子供同士の間人間関係にも目を配り、子供たちのよさを発見してあげてください。きっと、ご家庭とは違った素敵な所に気が付かれると思います。ご来校、お待ちしております。

〈参考・引用〉外山美樹「勉強する気はなぜ起こらないのか」ちくまプリマー新書